

まちバス改編（路線の一部変更） 補足資料

1 現状の整理

(1) 運行ルート及び本数



【東西線】中岡崎⇄岡崎げんき館 平日 20 往復 休日 15 往復（バス 2 台で運行）
【南北線】シビコ北⇄市役所 平日 19 往復 休日 16 往復（バス 2 台で運行）

(2) 1 便当りの利用者数

・ H22～H23 に大規模商業施設の撤退などがあったが、運行開始以来、増加傾向である。

（1 便あたり利用者数の推移）（単位：人/便）

	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
利用者数	2.5	4.5	4.9	4.5	4.9	5.0	4.9	4.8	5.1	5.0

2 利用促進策案

- ・ 買物乗車券等の廃止後の対応については、市商工部門や地元商店街等の連携や、運行改善の中で別途方策を研究するものとする。

3 路線一部変更後の収支予測

まちバス運賃試算

H28ルート別実施状況

ルート	運行費(円)	収入(円)	委託料(円)	利用者数(人)	日平均利用者数(人)	便平均利用者数(人)	
東西ルート	35,114,289	5,368,781	29,745,508	74,900	207	5.5	
南北ルート	35,020,006	3,399,783	31,620,223	57,039	158	4.3	
合 計	70,134,295	8,768,564	61,365,731	131,939	365	4.9	収支率 12.50%

まちバス運賃種収入

	東西線	南北線	合計
運賃収入	4,342,800	2,622,700	6,965,500
買物乗車券	1,020,417	777,083	1,797,500
1DAYフリー	5,564	-	5,564
合計	5,368,781	3,399,783	8,768,564

(単位：円)

利用者分析

	現在	変更後現金利用
現金利用者	27.9%	27.9%
買物乗車券利用者	26.6%	26.6%
乗継券利用者	43.7%	
その他利用者	1.8%	
合計	100.0%	54.5%

■ケース①

- ・買物乗車券廃止
- ・買物乗車券の発行に係る収入の減少
- ・買物乗車券利用者26.6%の8割が通常利用に転換すると想定

ルート	運行費(円)	収入(円)	委託料(円)	利用者数(人)	日平均利用者数(人)	便平均利用者数(人)	
東西ルート	35,114,289	7,536,108	27,578,181	70,915	196	5.2	
南北ルート	35,020,006	5,050,279	29,969,727	54,004	149	4.1	
合 計	70,134,295	12,586,387	57,547,908	124,919	345	4.7	収支率 17.95%

■ケース②

- ・ケース①+東岡崎接続に伴う東西線の減便(2本/時が1本/時)により利用者が9割になると想定

ルート	運行費(円)	収入(円)	委託料(円)	利用者数(人)	日平均利用者数(人)	便平均利用者数(人)	
東西ルート	35,114,289	6,782,497	28,331,792	63,824	176	9.4	
南北ルート	35,020,006	5,050,279	29,969,727	54,004	149	4.1	
合 計	70,134,295	11,832,776	58,301,519	117,828	325	5.9	収支率 16.87%

■ケース③

- ・ケース②+東岡崎接続により利便性が向上し、利用者が東西線が2割増加、南北線が1.5割増加すると想定

ルート	運行費(円)	収入(円)	委託料(円)	利用者数(人)	日平均利用者数(人)	便平均利用者数(人)	
東西ルート	35,114,289	8,452,137	26,662,152	76,589	212	11.3	
南北ルート	35,020,006	6,065,695	28,954,311	62,105	172	4.7	
合 計	70,134,295	14,517,832	55,616,463	138,694	384	6.9	収支率 20.70%